

戦争のために土地は売らない



歓迎

東方に太平洋の海原が広がり、西方に筑波山を抱える関東平野の百里原に位置するここ航空自衛隊百里基地は、戦前海軍航空隊の基地でした。

★ 戦後は基地がなくなり農業開拓地として解放されましたが、1956年航空自衛隊基地の誘致が発表され1965年には滑走路が完成しました。

この間、百里基地反対期成同盟や愛町同志会が結成され、軍事基地反対の激しい怒りと運動が起こり、基地誘致をすすめる町長をリコールし全国初の山西きよ女性町長を誕生させました。また、1958年から31年間、自衛隊は憲法違反の裁判がたたかわれました。

★ 人の心を鬼にし、人と人が殺し合う戦争。戦前の悲惨な戦争体験は憲法9条によって、鬼から人間のこころを取り戻しました。

戦争のための戦力はもたない、戦争は二度としないという憲法9条の精神は、戦後の国際社会における平和の道しるべになりました。

★ 戦争のための基地づくりである国の買収には協力しないという百里農民の堅い決意は、60年以上にわたって世界に類なき欠陥基地として、滑走路と平行する導路を「くの字」に曲げています。ここは、憲法9条が光り輝いている平和公園です。“貧しくとも平和な暮らしを”という百里農民のこころは、五穀豊穡と憲法9条の願いとなって、百里平和稲荷が祀られています。

2021年2月
百里基地反対同盟

平和公園

基地のど真ん中であって、誘導路を「くの字」に曲げている反対運動の拠点。百里稲荷神社、展望台、日本山妙法寺の石塔とお堂、一坪運動地、平和地主運動地などがある。1989年に百里平和公園として整備された。



九条の丘(射撃場)

「自衛隊は憲法違反」の大看板

海軍航空隊時代に築かれた人工の丘で、反対運動の象徴の一つ。1978年から新一坪運動を行い、500名を超える地主がいる。1976年に「自衛隊は憲法違反」の大看板を設置した。2020年3月に国会で当時の安倍首相から自衛隊員の士気をそぐと指摘された。看板は、平和公園からも基地のエプロンからも、茨城空港を発着する旅客機からも、大変よく見える。ここからは百里基地が丸見え。

航空自衛隊・百里基地

2016年にF15戦闘機の飛行隊がF4ファントム戦闘機の飛行隊に交代したが、2020年からはそのF4ファントム戦闘機が順次退役し、国産戦闘機であるF2戦闘機の飛行隊が新たに配備された。現在もF2戦闘機などが実戦配備され、毎日激しい訓練が行われていることに変わりはない。百里基地は「首都防空の基地」とされているが、首都圏にある横田・厚木などの米軍基地の防衛が重要な任務である。1989年からは日米共同軍事訓練基地となり、2007年からは沖縄の負担軽減に伴う米軍機の訓練移転基地となって、米軍機の訓練に使用されている。